



広島湾さとうみ創生コミュニティ 第6回ワークショップを開催しました！

今回は、まず、食と健康プロジェクトが進めている「広島湾のさとうみ弁当の開発・販売」の進捗と今後の展開と、広島湾さとうみ創生コミュニティの活動をサポートするために設立する「NPO 法人瀬戸内さとうみ楽会」のコンセプトについて話題提供を行いました。

続いてのワークショップでは、広島湾さとうみ創生コミュニティの平成 31 年度の実施方針について話し合いを行い、①平成 31 年度も広報イベントを開催すること、②コミュニティの名称を当面「広島湾さとうみネットワーク」に変更すること、キャッチフレーズを仮に「つなぐけん！海とみんなの豊かな未来」にすることを決定しました。

また、各プロジェクトについては、仲間になって欲しい方を誘って次回のワークショップに参加いただくことなどを決定しました。

次回のワークショップは、平成 31 年 5 月 26 日（日）に開催します（※会場、時間は調整中）、引き続き広島湾さとうみ創生コミュニティ全体の実施方針についての話し合いを行いますので、ぜひご参加をお待ちしています。

開催日：平成 31 年 3 月 2 日（土）13:30-17:00

会場：イノベーション・ハブ・ひろしま Camps

参加者：41 名

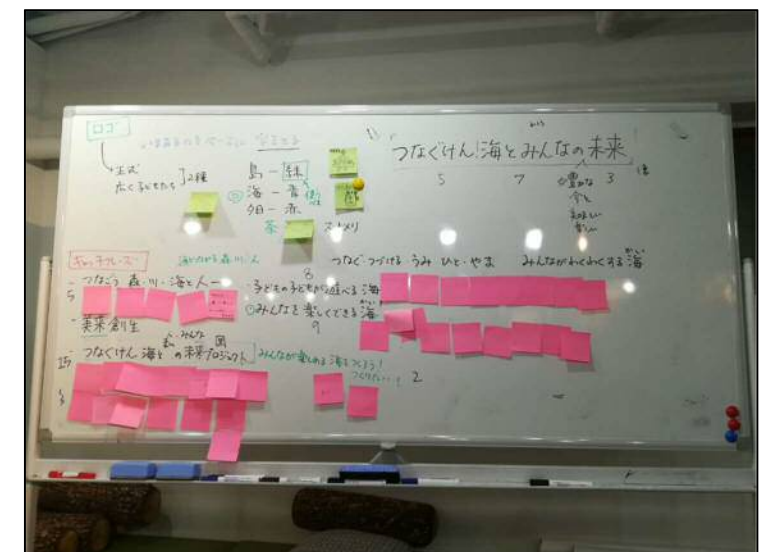
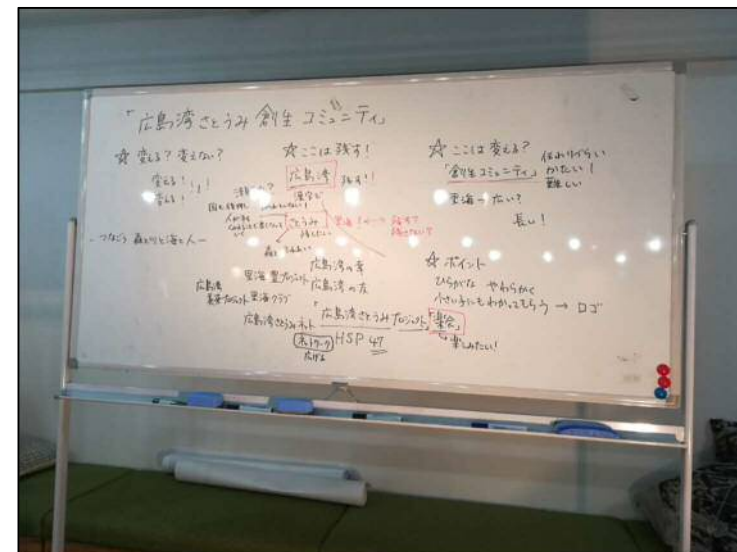
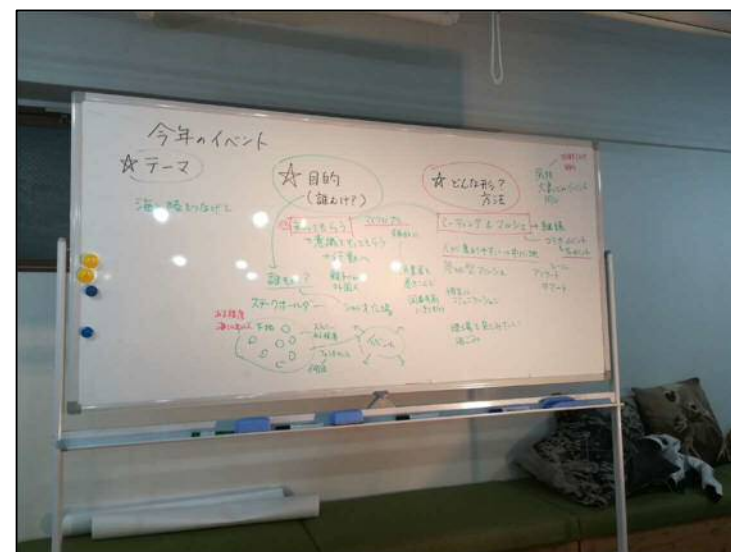
プログラム

（全体コーディネーター：県立広島大学 百武ひろ子教授）

- ・前回のワークショップの振り返り
- ・話題提供（広島湾さとうみ弁当づくり、NPO の設立）
- ・広島湾さとうみ創生コミュニティの平成 31 年度の実施方針

今回のワークショップに参加出来なかった方からも、引き続き広島湾さとうみ創生コミュニティでやってみたいことについてのご意見やアイデアをお待ちしております！ぜひ広島湾さとうみ創生コミュニティ事務局 (hwancommunity@gmail.com) まで連絡をお願いします！

ワークショップの様子



今年のイベントの開催

☆テーマ

- ・海と陸をつなげる（※検討中）

☆目的（誰に向けたイベントか）

- ・誰もが参加できるイベントにする。
- ・来場者に広島湾の問題を知ってもらい、行動へつなげていく。
- ・例えば、マイクロプラスチック問題については、漁業者や高校生を巻き込んでいく。
→それぞれのプロジェクトで、人を集めて拡げていく。
- ・ある程度海に近い人たちが下地・ストーリーをつくって、イベントにつながる仕掛けを検討する。

☆どのような形・方法でイベントを開催するか

- ・年1回のミーティング&マルシェの形は継続する。
- ・人が集まりやすい、広島市の中心地での開催を検討する。
- ・ミーティング&マルシェとコラボするイベント、プレイイベントを検討する。
（例えば、昨年実施できなかった周防大島町でイベントができないか？）
- ・海ごみの実態（現場）を見るイベントの開催を検討する。
- ・参加者と相互にコミュニケーションできる企画を検討する。
（例えば、シールを使ったアンケートや、参加者と協働でのアート作品づくりなど）

会のキャッチフレーズ

「つなぐけん！ 海とみんなの豊かな未来」

- ・参加者による投票の結果、当面はこのキャッチフレーズとする。

各プロジェクトの進め方（※次回ワークショップでも引き続き検討）

- ・平成31年度も、引き続き現在のプロジェクトを進める。
「食と健康プロジェクト」
「みんなで干潟をつくるプロジェクト」
「広島湾新発見ツアー開発プロジェクト（エコツアー等）」
「海ごみプロジェクト」
「情報発信プロジェクト」
- ・「広島湾新発見ツアー開発プロジェクト」については、その他のプロジェクト全体とコラボしたイベントを検討する。
- ・「情報発信プロジェクト」は、各プロジェクトの活動内容などの発信方法について検討する。
- ・次回のワークショップまでに、それぞれのプロジェクト（食と健康、干潟、海ごみ）で、どんな助成金、協賛金が活用できそうかを調べる。
- ・各プロジェクトで仲間になって欲しい人を誘い、次回のワークショップに来ていただく。

「広島湾さとうみ創生コミュニティ」に変わる、会の名称

☆基本方針

- ・「広島湾」「さとうみ」は残す。
- ・「創生」「コミュニティ」は外す。

☆新しい名称

「広島湾さとうみネットワーク」

※当面はこの名称を進めるが、もっと良い案があれば、次回に提案する。

☆ロゴマーク

- ・正式なもの、広く子どもたちにアピールできるものを考える。